

快適環境創造の推進

快適環境創造の推進

ノロウイルスに感染した時の症状は 24~28 時間で、嘔吐・腹痛・下痢等の症状が出ます。

特に嘔吐は多い症状ですが、発熱はあまり高くないことが多いようです。通常は 3 日以内に回復することが多いですが、あらゆる年齢層に感染し発病する可能性があります。高齢者等では重症化することもあります。またノロウイルスに対する免疫の持続は短期間であるため、一度発症しても再度感染する可能性があります。

「感染経路」

経路 1 人の糞便中のノロウイルスが、下水を経て川から海へ運ばれ、二枚貝の内臓に蓄積されます。それを充分加熱しないで食べると感染します。

経路 2 ノロウイルスに感染した人が、充分に手洗いを行わずウイルスがついたまま調理すると、食品が汚染され、その食品を食べた人が感染します。

経路 3 ノロウイルスを含んだ糞便や嘔吐物を処理した後手についたウイルスや不適切な処置で残ったウイルスが、口から取り込まれ感染します。

「消毒方法」

・ノロウイルスを含めた感染症胃腸炎が疑われる場合は、手の触れる場所や身の回りの物は 0.02% 次亜塩素酸ナトリウムで拭き上げ
また嘔吐した物については 0.10% 次亜塩素酸ナトリウムをしみこませた布やペーパータオルで覆うか、湿すようにして拭き上げます。

ノロウイルス対策には

アルコールは効果がありません。



ノロウイルス対策マニュアル 1

「感染予防」

●手洗い

ノロウイルスによる感染症は、多くの場合、ウイルスに触れた人の手を介して感染が拡大します。一般的には流水と石鹸による手洗いによる習慣をしっかりとつけることが、感染予防の基本です。用便、排泄物の処理後、あるいは調理や食事の前には必ず手洗いをしましょう。

●排泄物・嘔吐物の処理

糞便や嘔吐物の処理は、処理する人自身への感染と、施設内への感染拡大を防ぐため、適切な方法で、迅速・確実に行うことが必要です。

「資材の準備」

「バケツ以外は全て使い捨てとする。」

- ・使い捨て手袋
- ・使い捨てマスク
- ・拭きとるためのタオル
- ・ペーパータオル
- ・ダスタークロス
- ・ビニール袋
- ・ポリバケツ
- ・ビニールエプロン

(ない場合は 90L のゴミ袋を代用します。)

「消毒剤」 次亜塩素酸ナトリウム 0.10% 濃度
(商品名・ピューラック-S)

快適環境創造の推進

快適環境創造の推進

嘔吐物等の処理方法と換気

人が直接手を触れる場所は、ノロウイルスに汚染されている可能性があります。

ふだんから多くの人の手が触れる場所や身の回りのものは定期的にアルコール等を用いて消毒しましょう。特にノロウイルスを含めた感染性胃腸炎が疑われる場合は

「0.02%次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒をしてください。」

嘔吐物等の拭きとりと消毒が徹底されていない場合は、乾燥したあとにウイルスが拡散し、感染が拡大するおそれがあります。嘔吐物等を適切に処理し、さらに適切な(窓の開放・換気扇)換気を行うことが大切です。

「嘔吐物処理作業 1」

処理作業する人は、使い捨て手袋とマスク、及びビニールのエプロンを着用します。

※ 嘔吐物処理時とその後は窓を開けるなど換気を十分に



「嘔吐物処理作業 3」

嘔吐した物が付着した床とその周囲は、0.10%次亜塩素酸ナトリウムをしみこませた布やペーパータオルで覆うか、浸すようにして拭いてください。



ノロウイルス対策マニュアル 2

「嘔吐物処理作業 2」

- 嘔吐物は使い捨ての布やペーパータオル等で外側から内側に向けて、拭きとり面を折り込みながら静かに拭きとります。
- 使用した使い捨ての布やペーパータオル等は全てビニール袋に入れ密封して処理します。

「嘔吐物処理作業 4」

※バケツ以外の使用物は全てビニール袋に入れ密封して処理しましょう。

処理後は、流水と石鹸による手洗いを十分にしましょう。



「次亜塩素酸ナトリウム消毒液の希釈の仕方」

| | | | |
|-----|----------|---------------------------|-----------------------|
| 商品名 | ピューラック-S | (原液の濃度が6%の商品) | 発売元 (オーヤラックスクリーンサービス) |
| 濃度 | 0.02% | (原液 10ml に水を加え合計 3L にする。) | 多くの人が触れる場所 |
| 濃度 | 0.10% | (原液 50ml に水を加え合計 3L にする。) | 嘔吐物処理作業 |